

製造業のビジネスチャンスが見える
モノづくり最新情報サイト
じゃぱんお宝にゅ〜す
<https://japan.otakaraneews.com>

じゃぱんお宝にゅ〜す

モノづくり現場の未来を見つめる
製造業応援サイト
じゃぱんお宝WEB新聞
最新情報満載！好評配信中！

日立建機

土工用振動ローラ「ZC120S-6」発売

抜群の操作性および機械周辺の視認性の良さ実現
日常メンテナンスのしやすさなどでも高い評価
オペレータの視認性を確保、安全性・作業性向上

路床の締固めのほか
インフラ整備に活躍

運転席から機械周辺
の視認性を確保し、
安全性・作業性向上

日立建機は、「特定特殊自動車排出ガスの規制等に関する法律(オフロード法)」2014年基準に適合した土工用振動ローラ「ZC120S-6」を、日本国内向けに2022年6月より発売する。

「ZC120S-6」は、日立建機の連結子会社である日立建機カミーノが、日立建機グループとして初めて開発した土工用振動ローラで、2021年4月より日本国内でレンタルを開始した。レンタルを活用していたユーザーから、操作性や機械周辺の視認性の良さ、日常メンテナンスのしやすさなどで高評価を得ていたため、今回、一般販売を開始した。

同機は、道路や舗装の土台となる路床の締固めのほか、ダムや空港、港湾、宅地造成などの大規模なインフラ整備や、減災・防災に向けた国土強靱化の取り組みでの活用が期待されている。

「ZC120S-6」は、安全性および作業性を向上させるため、運転席の窓を大きく、車体後方のエンジンカバーは傾斜をつけた造形として、オペレータが運転席から機械周辺を幅広く見渡せるようにした。直接の視認が難しい車体後方や後端の下部は、運転席内のモニターで確認することができる。

注意喚起・操作ガイダンス等モニター表示で
安全性を向上

同機は運転席内のモニターに、駐車ブレーキ解除のし忘れやニュートラルスタートといった注意喚起、排出ガス後処理装置の再生手順などの操作ガイダンスを表示することで、安全性の向上に寄与している。

また、ユーザーに適正なタイミング



でのメンテナンスを実施してもらうための、エンジンオイルや作動油などの次回メンテナンスまでの時間も表示する。

メンテナンスを
地上から可能に

「ZC120S-6」は、燃料給油口、エンジンオイルレベルゲージ、エアクリナーなどを車体の低い位置にレイアウトした。エンジンカバーを開けるだけ

で、地上から日常的にメンテナンスを行うことができる。

また、「自動逆転クーリングファン」により、ラジエーターに付着したほこりを定期的に飛散することで、エアブローによるラジエーターの清掃頻度を低減した。

発売開始は、2022年6月から。販売目標は、年間30台。
標準小売価格は、1,870万円(税別)。

※製品の詳細は下記URLを参照。



■日立建機URL→ <https://www.hitachicm.com/global/jp/>

■製品の詳細は→ https://www.hitachicm.com/global/jp/news-list_jp/22-02-09j/